

3人4脚

R4. 5/6(金) 第2号
二宮西中学校学校だより
発行者:和田 智司

早くも5月…本物の中学生、本物の先輩に

～入学・進級したときの夢とやる気を持ち続けてほしい～

4/6(水)に着任式・始業式・入学式が行われ、本格的に新学期が始まってからすでに1ヶ月が過ぎました。1年生は、中学校生活にも慣れてきたのではないのでしょうか。一方の2・3年生は、先輩としての自覚が出てきたことと思います。カーレースに例えるなら、いよいよ本物の中学生、本物の先輩としてエンジン全開、ピットからコースへ飛び出す時となりました。

今の二宮西中学校の256名の生徒の良いところは「やるべきことをしっかりできること」だと思います。・・・4/18

(月)の避難訓練は、各教室から体育館への移動から体育館内での整列まで生徒たちは一言も話すことなく静かに行動できました。緊張感があり、だれも話さないといった、実に素晴らしい避難訓練でした。私が経験した訓練の中で一番良かったと思います。また、4/19(火)の全国学力学習状況調査では、3年生全員がしっかりと集中して問題に取り組んでいました。

5月に入った今、新しい環境になり“夢とやる気”を持ち続けられる人とそうでない人が出てしまうのがこの時期です。保護者の方におかれましては、お子さんが“夢とやる気”をずっと持ち続けられるようなアドバイスをしていただけますようよろしくお願いいたします。

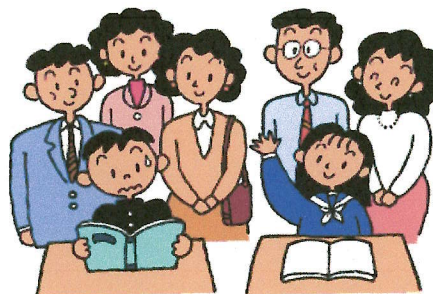
授業参観には123名もの方のご参加をいただきました。ありがとうございました。

4/26(火)の午後から授業公開、学級懇談会、PTA総会、部活動懇談会が開催されました。新型コロナウイルス感染症の感染対策のため授業公開、学級懇談会、対面でのPTA総会ができませんでしたので、3年ぶりの開催となりました。授業参観には123名もの方のご参加をいただきました。ありがとうございました。

4月25日のマチコミおよびHPで配信しました「明日の授業参観・PTA総会・部活動保護者説明会でのお願い」に対し、ご協力いただきましたことも重ねてお礼申し上げます。コロナ禍での初めての試みに対し、保護者の方々が静かに授業を参観してくださったことを本校教員は、大変感謝していました。

「和顔愛語」「先意承問」…ある学校の校長室の掲示物より学ぶ

約1年前のことになりますが、出張である学校を訪れたとき、その学校の校長室に掲示してあったものです。『大無量寿経』というお経の中に、「和顔愛語」(わけんあいご)という言葉があります。「和顔愛語」とは、和やかな笑顔と思いやりのある話し方で人に接することです。この言葉は、さらにこう続きます。「先意承問」(せんいじょうもん)。これは相手の気持ちを先に察して、その望みを受け取り、自分が満たしてあげるという意味です。



つまり、「和顔愛語 先意承問」とは、和やかな顔と思いやりの言葉で人に接して相手の気持ちをいたわり、先に相手の気持ちを察して、相手のために何ができるか自分自身に問いただすということになります。

辛いときや嫌なことがあったとき、愚痴をこぼしたくなる時、そんなときこそ、まず自分から笑顔と優しい言葉で周りの人に接する姿勢、それが「和顔愛語」です。しかし、自分自身が「和顔愛語」を実践するとなると、簡単ではありません。気分が悪いときはなかなか笑顔にならないものです。愛情を感じていない相手に、思いやりのあるやさしい言葉をかけるのも、抵抗があるものです。

そこで大切なのが「先意承問」、つまり「相手のことを先に考えて、与えること」です。笑顔になってほしいのならば、まずは相手に笑顔を見せることです。優しい言葉をかけてほしいのならば、まずは相手に優しい言葉をかけてあげることです。幸せを求めるならば、まずは相手に幸せを与えることです。

私自身、この言葉を知ってから自分から先に相手の気持ちを重んじて、相手の幸せを考える「思いやりの心」を心がけたいと強く思うようになりました。

「生徒の主体性を育てたい」

～新企画「第1回リーダーズ研修会」が開催されました。…素晴らしい研修会でした！～

4/14(木)の放課後に今年度の新企画である「第1回リーダーズ研修会」が開催されました。各クラスの学級代表・副代表、各委員会の委員長、生徒会本部役員、生徒会議長団を対象に、生徒会担当の石丸先生が講師となり、『学校を楽しくする方法』と『話し合いをしやすい方法』について学びを深めました。

具体的には、1・2・3学年がすべての班に分かれるようにくじを使って班分けをし、10の班に編成しました。付箋とChromebookのJamboard機能を活用し、ブレインストーミングの手法で、まず『学校を楽しくする方法』について班ごとに話し合いを行いました。その後、全ての班の発表を聞きました。

発表をしっかりと聞いたこと、そして発表に対して大きな拍手ができたことは素晴らしいかったです。さすがリーダーの集まりであると感じました。しかし、残念なことに発表に対する質問や意見が1つも出ませんでした。それを受け石丸先生は『話し合いをしやすい方法』について考えようという提案をしました。

いつも司会進行をしているリーダーたちは、誰も意見や質問を出せなかったことを自ら体験し、『話し合いをしやすい方法』について各班でより真剣に話し合いました。多くの先生方が今回のリーダーズ研修会の様子を見にきてくれました。「生徒の主体性を育てたい」という石丸先生の熱い想いが伝わった素晴らしい研修会でした。第2回は夏休み中に実施する予定です。さらに素晴らしい研修会となることを期待しています。

今年度より「震度5強以上」は保護者の方への引き取りとなります!!

今年度より「二宮町幼・保・小・中 一斉避難訓練及び引き取り訓練」において、中学生も引き取り訓練となります。日時は6月16日(木)の14時から引き取り開始です。詳細は後日、紙面にてお伝えします。

